

クリニカルレベルⅡ研修

到達目標  
標準的な看護計画に基づき、自立して看護を実践する

※受講対象レベル：現レベルⅡ(ブルー)臨床経験の目安は2~3年目

中項目	研修名	開催日	時間	ねらい	内容	講師 (オブザー)	研修場所	申込
A	看護過程の展開	7/11 (月)	13:30~ 16:10 (160分)	看護過程の展開を理解できる	1. 各種記録の方法 2. SOAPについて	診療記録管理 委員会看護部 会	7/11 10/6 臨床研修 センター 12/9 B館8階 会議室①	6月
	NANDA看護診断の展開	10/6 (木) 12/9 (金)		NANDA看護診断を理解できる	1. 領域・類・診断概念・看護診断など			
B	目標管理 目標管理Ⅱ	8/19 (金)	13:30~ 15:00 (90分)	1. 1自己分析の結果をもとに個人目標を設定し、取り組むことができる 2. 定期的に計画実施の評価・修正ができる	1. 現状分析の手法 2. 演習	6B病棟看護科 秋山主任 サポート 7B病棟看護科 宮田係長 オブザーバー 内視鏡看護科 金井主任	臨床研修 センター	7月
	倫理・ 接遇 倫理Ⅱ	10/14 (金) 1/19 (木)		1. ケアの受け手や周囲の人々の人権を尊重した行動をする 2. 日常の看護提供場面における倫理的ジレンマから、倫理的問題や課題を検討する 3. 倫理問題の所在に気づくと共に、どうすべきかを考え行動できる	1. 倫理的問題と課題 ・倫理原則の理解 ・事例を通して倫理原則の考え方	13B病棟看護科 山根主任 サポート 5B小児病棟 看護科 宮田主任 オブザーバー 集中治療 看護科 西川係長		
C	教育・ 研究 継続教育Ⅱ	9/2 (金)	13:30~ 15:00 (90分)	1. 新人看護職員研修について行政から出されたガイドラインを理解できる 2. 学生や新人を温かく受け入れる態度で対応できる 3. 新人看護職員研修の教育体制を理解し、実地指導者のもと新人教育に携わることができる	1. 新人看護職員研修の基本的考え方 2. 指導者の役割、心構え、態度 3. 新人看護師が陥りやすい困難や問題への理解 4. 新人看護職員研修の教育体制	5A病棟 看護科 松下主任 サポート 8B病棟 看護科 三上主任 オブザーバー 外来看護科 倉林主任	臨床研修 センター	8月
	安全管理 安全Ⅱ	11/4 (金) 1/27 (金)		15:10~ 16:10 (60分)	1. 事故事例から、以下の点を理解する ①ガイドラインやマニュアルの視点から自身の日々の実践で安全を確保する方法 ②安全な看護を実践するための優先順位 ③事故発生時の看護記録(経時記録)	1. 事故発生時の看護記録 2. 危険予知訓練の実施		
ナース ングス スキル	動画 視聴 社会人基礎力			社会人基礎力の基礎	社会人基礎力「3つの能力と12の能力要素」について基礎知識を学び、なぜ看護師に社会人基礎力が必要であるかを理解する			
	動画 視聴 専門領域スキルアップ			家族看護 応用編	家族システムと医療システムの調整をしつつ、意思決定支援をしていく方法について学ぶ			

※ サポートの方は次年度講師です。

※ オブザーバーは前年度講師です。

クリニカルレベルⅢ研修

到達目標  
ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する

※受講対象レベル:現レベルⅢ(グリーン) 臨床経験の目安は3~5年目

中項目	研修名	開催日	時間	ねらい	内容	講師 (オブザーバー)	研修場所	申込
A	倫理・ 接遇	倫理Ⅲ	7/29 (金) 9/22 (木)	13:30~ 15:30 (120分)	1. 倫理的ジレンマから倫理的問題や課題を明確にして説明する 2. 日常の看護提供を振り返り、看護業務基準(2016年改定版)や看護師の倫理綱領を用いて、自身の役割や責任を関連付けて理解する 3. 倫理的ジレンマについて、相談行動をとる	救急初療看護科(血管造影係) 蓮見係長 サポート 10B病棟看護科 太幡主任 オブザーバー 10A病棟看護科 関根科長	7/29 臨床研修センター 9/22 B館8階会議室①	6月
	安全管理	安全Ⅲ		15:40~ 16:40 (60分)	1. 日常の看護提供場面における事故発生リスクに気づき、解決策を立案する 2. 事故事例を用いて、事故発生の要因を分析し、解決策を立案する	医療安全管理課 深澤課長		
B	目標管理	目標管理Ⅲ	8/26 (金) 12/15 (木)	13:30~ 15:00 (90分)	1. 自己分析した結果をもとに、看護部目標・部署目標を踏まえた個人目標の設定を行うことができる	8B病棟看護科 成田科長 サポート 4A病棟看護科 堀内主任 オブザーバー 内視鏡看護科 土屋係長	8/26 B館8階会議室① 12/15 臨床研修センター	7月
	教育・ 研究	継続教育Ⅲ		15:10~ 16:30 (80分)	1. 新人看護職員研修の教育体制を理解し、実地指導者としての役割を果たせる 2. クリニカルラダーⅠ、Ⅱの看護職員に指導的に関わることができる	1. 新人看護職員研修における実地指導者の役割、心構え、態度 2. 役割を果たすための基礎知識 3. 事例をもとに新人看護職員への指導方法を考える	新人看護職員教育担当 ホングラ係長	
C	倫理・ 接遇	災害・防災 管理Ⅲ			1. 自部署の災害訓練の企画運営について理解できる 2. 院内での自部署の役割が理解できる	1. 自部署の災害訓練の企画運営(部署プチ訓練に関しては部署担当災害対策委員に相談する) 2. 災害時の自身の役割 3. 所定の災害訓練報告書を作成する(所属長が内容を確認し押印する)		
ナース ングス スキル	動画 視聴	倫理		身体拘束について考える(スタッフ編)	身体拘束に関わる現状からの問題点や弊害について学び、固定観念や独善的な視点による身体拘束を回避するための対策について理解する			
		メンタルヘルス		終わらない仕事にどのようにモチベーションを保てばいいの？	モチベーションが低下する原因について理解し、ストレスの対処方法とモチベーションを維持する方法を学ぶ			

※ サポートの方は次年度講師です。

※ オブザーバーは前年度講師です。

クリニカルレベルⅣ研修

到達目標

幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する

※受講対象レベル:現レベルⅣ(オレンジ) 臨床経験の目安は5年目以上

中項目	研修名	開催日	時間	ねらい	内容	講師	研修場所	申込
A	チーム医療 チームでの協働Ⅳ	7/21 (木)	13:30～ 15:20 (110分)	1. 多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる	1. 合意形成 2. 交渉術 ①チームでの協働について事例を用いて以下の点から説明する ・多職種の効果的な役割発揮 ・調整方法 ・ケアの目標の共有化 ・役割分担 ②多施設多職種との連携について、事例を用いて以下の点から説明できる ・多施設多職種の役割 ・主体的な調整 ・予測的状況に応じた連携のタイミング ③複雑な状況(例:意思統一の困難等)におけるチームでの協働について事例を用いて以下の点から説明する ・看護情報の説明 ・調整方法 ・ケアの目標の共有化 ・役割分担 ④部署での実践を課題レポート提出	外来看護科 看護科 堀籠係長  サポート 6B病棟看護科 岩崎係長  オブザーバー 5B産科病棟 看護科 青木科長	B館8階 会議室①	6月
	安全管理 安全Ⅳ		15:30～ 16:30 (60分)	1. 実践の場における安全に関するリスクを予測した問題提起とその対策を提案する 2. 常に療養環境が安全である配慮した調整を実施する 3. 暴言・暴力やクレーム等から、発生した要因を分析し対応策を導き出す	1. 安全にかかわる関係法規 ・医療法	医療安全管理課 深澤課長		
B	目標管理 目標管理Ⅳ	9/29 (木)	13:30～ 15:00 (90分)	1. 部署目標における自身の役割が理解できる 2. 部署目標を共有し、達成するための行動をスタッフと共有できる	1. 現状分析の手法[復習] 2. 自部署の運営に必要な経営指標 3. 演習 ①SWOT分析の手法を用いて、自部署の現状を、部署の看護管理者と共に分析する ②自部署の現状分析の結果をもとにした課題の明確化 ③自部署の目標設定背景について  ※次年度の目標設定	7B病棟看護科 成田科長  サポー 9B病棟看護科 小寺科長  オブザーバー 13B病棟看護科 辻科長	B館8階 会議室①	8月
	教育・研究 継続教育Ⅳ		15:10～ 17:10 (120分)	1. 部署の教育プログラムを理解し、指導的立場としての役割を担うことができる 2. 教育担当者の役割が理解できる 3. クリニカルラダーⅠ、Ⅱ、Ⅲの看護職員に指導的に関わることができる	1. 新人看護職員研修における教育担当者の役割、心構え、態度 2. 成人学習者の特徴と教育方法の基礎知識 3. 事例を用いた実地指導者の困難と問題への指導方法の検討	新人看護職員 教育専従 ホングラ係長		
C	倫理・接遇 倫理Ⅳ・Ⅴ	12/6 (火)	14:00～ 16:00 (120分)	1. 倫理的問題や課題のある状況において、倫理的問題や課題の顕在化を図り、適切なリソースの活用や相談行動・コンサルテーションを実施し、記録する 2. 倫理的問題や課題について、検討するアプローチ方法を用いて、チームで検討する	1.倫理的課題に対するアプローチ ・原則を用いた問題点の整理 ・標準化した枠組みを用いた検討 ・ナラティブ	勝原顧問	B館8階 会議室①	11月
ナ ー シ ン グ ス キ ル	動画視聴 社会人基礎力			先輩看護師として身につけたい社会人基礎力	社会人基礎力の12の能力要素について、具体的な行動例を通して学び、自分の社会人基礎力を評価する際の視点を理解する。社会人基礎力をどのように発揮し、鍛えていくかについて学ぶ			
	シミュレーション学習コンテンツ			思考力を伸ばす指導	指導者の心構え・良い指導方法・思考力を伸ばす指導方法を学ぶ			

※ サポートの方は次年度講師です。

※ オブザーバーは前年度講師です。

クリニカルレベルV研修

到達目標

より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択し  
QOLを高めるための看護を実践する

※受講対象レベル:現レベルV(ピンク)

(実際にマネジメントを実践している管理者は除く)臨床経験の目安:7年目以上

研修	中項目	研修名	開催日	時間	ねらい	内容	講師	研修場所	申込
A	教育・研究	継続教育V	8/31 (水)	13:30~ 15:00 (90分)	1. 教育担当者として、自部署の教育・指導の中心的役割を担うことができる 2. 実地指導者への指導ができる 3. 自部署の教育体制の課題や問題点を導き出すことができる	1. 新人看護職員研修における教育担当者の役割と実践 2. 教育方法の理論と実践 3. 自部署が抱える教育・指導の課題や問題の共有と自部署の教育体制の検討	新人教育専従 ホングラ係長	臨床研修センター	7月
B	倫理・接遇	倫理IV・V	12/6 (火)	14:00~ 16:00 (120分)	1. 倫理的問題や課題のある状況において、倫理的問題や課題の顕在化を図り、適切なリソースの活用や相談行動・コンサルテーションを実施し、記録する 2. 倫理的問題や課題について、検討するアプローチ方法を用いて、チームで検討する	1. 倫理的課題に対するアプローチ ・原則を用いた問題点の整理 ・標準化した枠組みを用いた検討 ・ナラティブ	勝原顧問	B館8階 会議室①	11月
C		実践報告 (目標管理)	2023年 4/18 (火) 5/16 (火)	14:30~ 16:30 (120分)	1. 今年度の自部署の取り組みを聴講して、情報を共有する 2. 自部署の現状分析の結果を基に明らかにした課題に対する目標に沿って、看護管理者の助言を受けながら主体的に取り組むことができる	各部署のプレゼンテーションの聴講  クリニカルレベルV(シルバーピンク)は1日聴講とする。クリニカルレベルV(ゴールドピンク)はポイント換算や各部署勤務状況によって聴講する。発表者は所属長に限らず、各部署にて決定する。	無	B館8階 会議室1	3月
D		実践能力の向上			1. より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践することができる	クリニカルラダーレベルカテゴリー 大項目: 看護実践能力 中項目: ニーズをとらえる力、ケアする力、協働する力、意思決定を支える力 大項目: 組織的役割遂行能力 中項目: 目標管理、業務管理、物品管理、安全管理、感染管理、災害・防災管理、薬剤管理、倫理・接遇、自己管理 大項目: 自己教育・研究能力 中項目: 教育・研究  ※各カテゴリーごとに習得しておくべき内容	人材看護部会主催のその他研修、院内で行われる研修、埼玉県看護協会等の外部研修に参加とする		各自
ナ ー シ ン グ ス キ ル	動 画 視 聴	接遇/コミュニケーション		聴く力		「聴く」ことの意味合いやその効果、聴くスキルの基本を学ぶ			
		接遇/コミュニケーション		臨床コーチング		コーチング基本スキルの「聴く」「質問する」「承認する」事の意味合いやその効果について学ぶ			

研修受講はマネジメントポイント換算されます。

マネジメントレベル I 研修

到達目標

I：自部署の看護管理者とともに看護管理を実施できる

※受講対象：現マネジメントレベル I、実際にマネジメントを実践している主任・管理者

研修	中項目	研修名	開催日	時間	ねらい	内容	講師	研修場所	申込
A	教育・研究	人材育成	看護部主任会開催日	調整中	1. スタッフを育成する体制を整備することができる	1. 院内(AMGグループ)の教育体制や委員会組織についての理解 2. クリニカルリーダーの必要性や運用基準 3. クリニカルリーダーを通じた、スタッフの自己課題の明確化への支援について	小松崎 看護部長	調整中	
B		実践報告	2023年 4/18 (火) 5/16 (火)	14:30~ 16:30 (120分)	1. 今年度の自部署の取り組みを発表して、情報を共有する	各部署のプレゼンテーション *リーダー認定申請者は全部署の発表を聴講する	無	B館8階 会議室1	3月
C		看護管理			1. 社会・看護の動向をとらえ、看護管理を実践できる	看護マネジメントリーダーカテゴリー 大項目：概念化能力 ・組織経営管理 ・人事・労務管理 ・人材育成 ・安全管理 ・自己教育 大項目：対人的能力 大項目：専門的能力 ※各カテゴリーごとに習得しておくべき内容	埼玉県看護協会等の看護管理に関する外部研修を置き換えとする。	各自	

マネジメントレベルⅡ・Ⅲ研修

到達目標

Ⅱ：自部署の看護管理を実践できる

Ⅲ：トップマネジメントを担う一員として看護管理を実践できる

※受講対象：実際にマネジメントを実践している管理者・マネジメントレベルⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

研修	中項目	研修名	開催日	時間	ねらい	内容	講師	研修場所	申込
A	教育・研究	人材育成	看護管理者会開催日	調整中	1. 個々のスタッフの能力や可能性を見出し機会や権限を与え、成長支援をすることができる	1. クリニカルリーダーの必要性や運用基準 2. クリニカルリーダーを通じた、スタッフの自己課題の明確化への支援について 2. キャリアリーダーレベルの評価基準に基づいた適正評価について	小松崎 看護部長	調整中	
B		実践報告	2023年 4/18 (火) 5/16 (火)	14:30~ 16:30 (120分)	1. 今年度の自部署の取り組みを発表して、情報を共有する	各部署のプレゼンテーション	無	B館8階 会議室1	3月
C		看護管理			1. 社会・看護の動向をとらえ、看護管理を実践できる	看護マネジメントリーダーカテゴリー 大項目：概念化能力 ・組織経営管理 ・人事・労務管理 ・人材育成 ・安全管理 ・自己教育 大項目：対人的能力 大項目：専門的能力 ※各カテゴリーごとに習得しておくべき内容	埼玉県看護協会等の看護管理に関する外部研修を置き換えとする。	各自	

看護補助者研修

到達目標  
看護チームの一員として、良質な看護サービスを効率的に提供することができる

研修	No.	研修名	開催日	時間	ねらい	内容	講師	研修場所	申込
A	1	医療安全について	7/20 (水)	14:00～ 15:00 (60分)	医療事故を起こさないための注意点と対策が考えられる	医療安全について	医療安全管理課 深澤課長	臨床研修センター	6月
B	2	看護補助者の業務	10/20 (木)	13:30～ 14:30 (60分)	急性期病院における看護補助者の役割を理解し、業務に活かすことができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療制度の概要</li> <li>病院組織とチーム医療</li> <li>チーム医療における看護師/看護補助者の役割</li> <li>看護補助者の業務</li> <li>看護補助者の業務上の責務</li> <li>看護補助者に求められる倫理</li> <li>看護補助者業務における医療安全</li> <li>看護補助者業務における感染対策</li> <li>看護補助者業務における労働安全衛生</li> </ul>	業務担当副部長	臨床研修センター	9月
	3	日常生活に関わる業務	11/10 (木) 11/25 (金)	14:40～ 15:40 (60分)	認知症患者とのコミュニケーションや対応を学び、業務に活かせる	認知症患者とのコミュニケーションについて ユマニチュードについて	看護管理室 認知症看護認定 看護師 今井主任		
	4	日常生活に関わる業務	12/2 (金)	15:50～ 17:00 (70分)	看護師の指示・指導を受けながら基本的な看護補助業務を安全に遂行できる	日常生活援助について業務マニュアルを使用し、業務範囲、実施手順、留意事項の内容	業務改善委員会 看護部会		
C	6	個人情報保護	2月	各部署実施	守秘義務・個人情報についての知識確認	個人情報保護知識 確認テスト	文書管理課	各部署	
D	7	オムツのあて方	未定 計7回	60分/回	正しいアセスメントができ、正しくオムツが使用できる	排泄に関わる知識について 適切なオムツのあて方について	大王製紙 担当者	未定	

新入職員研修(看護補助者)

A	1	酸素ポンベの取扱	5/24 (火)	14:00～ 15:00 (60分)	酸素について 配管端末器(アウトレット)について 生命維持管理装置の操作及び保守点検の業務に携わる臨床工学技士(ME)が見た患者の移動・環境整備等に際しての留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸素の性質や酸素ポンベの取り扱い方、保管方法について</li> <li>* 二酸化炭素、窒素との違い</li> <li>* 流量計の選択と取り扱い方等</li> <li>・アウトレットの種類とはずし方</li> <li>誤接続防止について</li> <li>* ポンベとアウトレットの色の違い</li> <li>・高圧酸素治療室内への持ち込み物品</li> <li>* 確認不足、知識不足が原因の事故事例等</li> </ul>	臨床工学科 科長 臨床工学士 松本 晃	B館8階 会議室1	4月
B	2	移動・移乗の介助		15:10～ 16:10 (60分)	安全安楽な移動・移乗方法がわかる	ベッドから車椅子、車椅子からベッド、ポータブルトイレへの移動方法 車椅子の移送方法	リハビリテーション 技術科 科長 高橋一樹		
C	3	オムツのあて方		16:20～ 17:20 (60)	正しいアセスメントができ、正しくオムツが使用できる	適切なオムツのあて方	オムツマスター、 褥瘡管理科		

## 看護補助者(クラーク)研修

到達目標  
看護チームの一員として、良質な看護サービスを効率的に提供することができる

研修	No.	研修名	開催日	時間	項目・ねらい	内容	講師	研修場所	申込
A	1	看護補助者の業務	10/20 (木)	13:30~ 14:30 (60分)	急性期病院における看護補助者の役割を理解し、業務に活かすことができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療制度の概要</li> <li>・病院組織とチーム医療</li> <li>・チーム医療における看護師/看護補助者の役割</li> <li>・看護補助者の業務</li> <li>・看護補助者の業務上の責務</li> <li>・看護補助者に求められる倫理</li> <li>・看護補助者業務における医療安全</li> <li>・看護補助者業務における感染対策</li> <li>・看護補助者業務における労働安全衛生</li> </ul>	業務担当副部長	臨床研修センター	9月
	2	日常生活に関わる業務	11/10 (木) 11/25 (金)	14:40~ 15:40 (60分)	認知症患者とのコミュニケーションや対応を学び、業務に活かせる	認知症患者とのコミュニケーションについて ユマニチュードについて	看護管理室 認知症看護認定看護師 今井主任		
	3	日常生活に関わる業務	12/2 (金)	15:50~ 17:00 (70分)	看護師の指示・指導を受けながら基本的な看護補助業務を安全に遂行できる	日常生活援助について業務マニュアルを使用し、業務範囲、実施手順、留意事項の内容	業務改善委員会 看護部会		
B	4	E-JIMU	AMGポータルにて各自申し込み		個々の経験年数に応じたコンテンツを選び受講	2回/年	なし	各部署	
C	5	個人情報保護	2月	各部署実施	守秘義務・個人情報についての知識確認	個人情報保護知識確認テスト	文書管理課	各部署	

DA研修

到達目標  
 看護チームの一員として、良質な看護サービスを効率的に提供することができる

研修	No.	研修名	開催日	時間	対象	項目・ねらい	内容	講師	研修場所	申込
A	1	文書管理課勉強会に参加(最低1回)	MyWebで各自確認		全	※日程は院内MyWebにて広報あり。自己で申し込むこと。 最低1回の受講参加のこと。 ※受講後は研修報告書を1週間以内に作成し、所属長確認後、提出する前にコピーをとって、キャリアファイルに挟んでおくこと。				各自
B	2	個人情報保護	2月	各部署実施	全	守秘義務・個人情報についての知識確認	個人情報保護知識確認テスト	文書管理課	各部署	
C	3	事務部研修参加	アンガーマネジメント					左記研修から2つを必須受講とする		詳細は別紙参照
			プレゼンテーション							
			メンター							
			コーチング							

## その他研修

研修	研修名	開催日	時間	対象	伝達	ねらい	内容	講師	研修場所	申込	
A	看護研究【概要】	6/30 (木)	13:30～ 15:00 (90分)	IV以上	無	1. 看護研究の基礎知識を学ぶ 2. 指導者としての看護研究の進め方を学ぶ 3. 看護研究チームに対して指導的に関わるができる	1. 看護研究に必要な基本的知識 2. 看護研究の進め方 3. 看護研究指導のプロセス 4. 人材育成委員会看護部会看護研究発表会ガイダンス	看護部 香川科長  人材育成委員会 看護部会	B館8階 会議室 ③④	5月	
						※各部署、看護研究指導者を選出する 参加対象部署：2022年度看護研究開始部署は必須、対象外部部署は任意 ※看護研究指導者は埼玉県看護協会「看護研究における指導者の役割」を受講すること(任意)					
B	救命救急	7/28 (木)	13:30～ 16:00 (150分)	Ⅲ・ Ⅳ・Ⅴ	無	1. 事例を用いる ①呼吸、循環、意識の状態から急変を予測して説明する ②救命救急場面におけるリーダーシップを発揮して対応する ③ケアの受け手の家族や周囲の人々に配慮しながら対応する ④予測的な視点も含めてSBARを用いて報告する ⑤救命救急場面においてその場にいるメンバーでチームを構成し、連携して救命処置を実施する 2. 複雑な状況(例：倫理的課題、複雑な病態等)における救命救急についてチームと連携した対応を説明する	1. 急変予測 2. 救命救急場面におけるリーダーシップ 3. 救命救急時の心理的支援 4. 救命救急時のチーム連携	救急初療看護科 (ER看護係) 皆川主任	臨床研修センター	6月	
C	IVHポート管理	8/8 (月) 10/17 (月)	13:30～ 15:00	レベル Ⅳ 以上		中心静脈ポートの管理方法を理解し、実施できる	1. ポートの構造 2. 穿刺・抜針の手順 3. 管理方法	がん患者 支援看護科 鈴木主任	8/8 臨床研修 センター 10/17 B館8階 会議室①	7月	
D	クリニカルパス	9/7(水)	13:30～ 15:30 (120分)	Ⅲ以上	要	クリニカルパスを運用できる バリエーション、実践課程を理解し、運用することができる	クリニカルパスの運用について バリエーション分析	10B病棟看護科 伊藤科長	臨床研修センター	8月	
						※参加対象部署：外来・病棟・血液浄化療法看護科・内視鏡看護科・放射線看護科 ※任意参加部署：褥瘡管理科・手術看護科・保健指導科・エイトナイン・訪問看護・健康管理看護科・地域連携看護科・退院支援看護科・在宅支援看護科					
E	ディベート大会 キックオフ	10/28 (金)	13:30～	ディ ベ ーター	無	1. ディベートの実際を学ぶ(DVD閲覧) 2. 論点がずれることがないよう話し合い、調整する 3. スケジュール調整	今年度ディベーター選出者の集い		臨床研修センター	9月	
F	看護研究 発表会	11/12 (土)	14:00～ 17:30 (210分)	全	無	看護研究発表会から得られた知識を看護実践の場に活かす	院外看護研究発表者の研究発表聴講	なし	第1臨床 講堂	10月	
G	退院支援 ・ 退院調整	11/29 (火)	13:30～ 14:30 (60分)	レベル Ⅲ 以上	要	①事例を通して、退院支援・退院調整の実際を学ぶ。 ②退院支援・退院調整における看護師の役割を理解できる	退院支援における看護師の役割 退院支援・退院調整の実際	退院支援看護科 土屋科長 濱野係長	臨床研修センター	10月	
						※任意参加部署：内視鏡看護科・放射線看護科・透析看護科・手術看護科・保健指導科・健康管理看護科・エイトナイン ※伝達：レベルⅢ(グリーン)以上の助産師・看護師・准看護師					
H	ディベート大会	12/20 (火)	17:45～ 19:00 (75分)	全	無	議論過程の中で、理解力、分析力、構成力、伝達力を学び、論理的思考を養う	ディベート大会	オブザーバー	第1臨床 講堂	11月	
I	看護補助者の 活用について	未定 (2日間開催予定)		全	要	看護職員・看護補助者の業務分担・協働について学ぶ	1. 看護補助者との協働の必要性 2. 看護補助者の制度的な位置づけ 3. 看護補助者と協働する看護業務の基本的な考え方 4. 看護補助者との協働のためのコミュニケーション 5. 自施設における看護補助者に係る規定及び運用	調整中	第1臨床 講堂		
						※2022年度診療報酬改定に伴う全看護職員(全部署)対象研修 各部署1～2名受講し、部署内にて伝達講習を実施					